

令和元年度 決算について

1. 資金収支計算書

資金収支計算書の内容は、当該会計年度中のすべての収入および支出の内容と資金の顛末を 明らかにするものです。収入には借入金収入等の負債となる収入なども含まれ、支出には経費のほか資産を形成する資本的支出および借入金返済支出等も含まれています。従って資金収支計算書には、当該期間中の資金を伴う取引がすべて網羅されています。

令和元年度の当年度収入合計の決算額は 232 億 3,300 万円で、これに前年度繰越支払資金の 94 億 5,300 万円を加え、収入の部合計は 326 億 8,600 万円となりました。

一方、当年度支出合計の決算額は 223 億 5,000 万円で、これを収入の部から差し引くと翌年度繰越支払資金は 103 億 3,600 万円（予算対比 28 億 600 万円）となりました。

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は当該会計年度中の事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにし、収支の均衡状態が保たれているか否かを計算、表示しているものです。

財政の運営状況を示す事業活動収支計算において、基本金組入前収支差額は法人全体で 8 億 9,300 万円の収入超過（予算対比 8 億 3,600 万円改善）、当年度収支差額は 14 億 9,700 万円の支出超過（予算対比 30 億 400 万円改善）となりました。

なお、翌年度に繰越される収支差額は 51 億円の支出超過となりました。

3. 貸借対照表

貸借対照表は決算日における資産、負債並びに純資産を明らかにし、学校法人の財政状態を表すものです。令和元年度末における法人全体の資産総額は 1,268 億 3,600 万円となりました。総資産は前年度比 8 億 900 万円の増加となり、財政基盤の安定度強化に努めた結果となっています。

この結果として、純資産（資産総額から負債総額を控除した額）は 1,131 億 1,280 万円となり、前年度末に比べて 8 億 9,300 万円の増加となりました。

基本金は 23 億 6,400 万円増加して 1,182 億 2,800 万円となりました。内訳は、①第 1 号基本金（教育研究充実向上のために取得した固定資産）は 997 億 7,000 万円、②第 2 号基本金（将来取得する固定資産の取得にあてる資産）は 22 億円、③第 3 号基本金（奨学基金並びに経営基金として積み立てられている資産）は 152 億 700 万円、④第 4 号基本金（恒常的に保持すべき資金）は 10 億 5,100 万円となっております。

繰越収支差額は、累積で 51 億円の支出超過となりました。